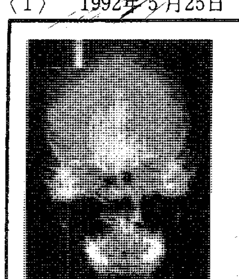
筑波學生新聞

発行所
筑波大学学生新聞会
編集代表
信濃　孝喜
〒305 つくば市天久保
3-9-5オオキビル3F
TEL 0298(52)4460
振替　宇都宮6−31450

就職問題特集号

就職＞研修＝∫社会人/学生 ディシプリン

伴田良輔氏インタビュー



▲私がハンダです。結石で入院した時に撮影してもらったもの。

「眼の楽園」より

昼と夜と逆転している生活を送っている学生が、毎朝七時に起きては一時間も満員電車にゆられ、会社へ行くことができるか!?「この苦痛はまさにディシプリンだ」と考えた本紙編集部はその道の達人である伴田良輔氏にインタビューを試みた。

DISCIPLIN

—就職して半年や一年間の新人研修を受ける事はすごいディシプリン（訓練・しつけ・折檻）ではないかと思うのですが。

別に研修だけがディシプリンじゃなくて、日本の学校教育自体が既にディシプリンだと思うんですよね。中学や高校で毎日六時間も授業を受けて大学へ入学し、就職するというのがほとんどのパターンだけど、中学や高校の六年間のあのつまらない授業に耐えてきた人達っていうのはものすごいディシプリンを経験してきた人達だと思うんです。

あまりにもゆるやかにディシプリンを受けたが為に、麻酔かけられたみたいになってしまって、ディシプリンを受けたという意識すらないと思うんです。例えば、アメリカなどで割と自由なカリキュラムで教育を受けた人が、急に日本で教育されたりするとものすごいディシプリンだと感じてしまうと思うんだけどね。

中学からどっしりと身に付いたディシプリンの成果として就職する訳だから、たかが研修なんてのは大したディシプリンじゃないかもしれないよね。

大学で四年間羽を伸ばした分のつらさはあるかもしれないけど、逆にそれをそろそろ元の拘束状態に戻して欲しいというマゾヒスティックな感じさえあるんじゃないのかなあ（笑）。

無意識のディシプリン・アディクトにとっては会社という規律の中へ入っていくのは快感かもしれないよね。

フェティシズム

—ディシプリンはフェティシズムなどと重なる部分があると思うんですが。

フェティシズムとディシプリンは直接は関係ないと思います。ディシプリンは対人関係における力学ですから、人間が中央にいるわけです。ただ、ディシプリンというものに当然発生する支配関係や形式化といった部分に、生き物をモノのように扱う視線が出てくる。これをフェティシズムとみることはできるでしょうけど。ディシプリンとフェティシズムが合体した最悪の例がナチズムですよ。無自覚なディシプリンやフェティシズムって結構アブナイんです。

でも、フェティシズム的な部分、モノへの執着ということでは誰でも子供の頃に持っていたんじゃないかな。こういう執着は世界を丸ごと所有したいという欲求と、世界に丸ごと呑み込まれそうな怖れに敏感な子供特有のもので、そのうち自然と消えていく。

そういう事から言えば僕も小さい頃から昆虫や岩石などを狂った様に集めてたよね。僕はそこまでいかなかったけれど、昆虫や鉱物へ対するフェティシズムがそのまま女に変わっていくとアブナイ（笑）。

—そのへんはどうなんですか。

別に僕は女を集めてる訳じゃない（笑）。女のイメージですよね。肉体そのものに対するフェティシズムはそんなにないんだよね。女であったり男でもいいんだけどそのイメージに対するフェティシズムだよね。なんでこんなに神様は過剰にイロイロなイメージを人間にお与えになったのかという、好奇心。

スコポフィル（窃視症）という言葉があるけれども、覗くということはつまり、「所有」する事と同じだと思うんです。例えば、イタリアのアルベルト・モラヴィアという作家が『覗く男』という、息子とその妻がセックスしている所を覗く事に情熱を傾ける老人の小説を書いています。

覗くというは、どんどん神の視点に近づくというか、何重にも覗きの"入れ子"が重なって、最後には神が世界を覗いているところに行きつく。他人のセックスを盗み見たいという欲求は、実は神になりたいという神聖な欲求なんです（笑）。作家や芸術家なんて十人中十人、スコポフィルです。寺山修司みたいにその辺を歩き回って人の家を覗く様なところまで自分に忠実な人だっていた。エライですよ。

そういう意味ではひとり部屋の中でオナニズムというものに耽っている人達——オナニーじゃなくてオナニズムですよ。そりゃオナニーもしてるでしょうけど（笑）——そういう人達の感性というのはそのまま、現代美術の最先端にいる人達の行為とつながっていると思うんです。

アメリカのスターツインズという双子のアーティストは写真を切り刻んで得体の知れないコラージュを作る人なんだけど、彼らの持っているスコポフィリアックな部分と、アイドル写真なんかでこっそり自分のアルバムを作っちゃう高校生との間に、そんな大きな差はないと思うんだよね。どっちも、僕のいう「独身者」のオナニズムです。

独自の手法

—伴田さん独自のフェティシュでしかも、ビジュアル的な本というのはどういう風に生まれたのか、経歴もまじえてお伺いしたいのですが。

僕は京都北部の、まさに日本のツインピークスのような山陰の町で生まれたんです。高校までずっとそこにいて、大学に入って東京に出てきたんです。僕自身、高校の頃から物を書く仕事をやりたいと思っていたから、そういう事ができるバイトを探してたんですよ。そしたら、たまたま銀座に映画や演劇情報のタウン紙をつくるバイトが見つかって、それを大学三年ぐらいからお金をもらって編集してたんです。そこで文章を書く事はもちろん、デザインやコラージュのおもしろさを覚えちゃった。

—ポルノグラフィーなども含めフェティシュなものを扱うようになったのはいつぐらいからなんですか。

そのバイトをやめた後に、もともと性的なものに引かれるのは何故だろうって前から自分でも不思議だったから飽きるまで徹底的にそっちの方へ行ってみようと思ったんですよ。当時は男の子向けのビジュアル雑誌が隆盛期だったしね。

—「写真時代」とかですか。

そう白夜書房系の雑誌がすごく元気だったんですよ。荒木経惟や南伸坊、渡部和博、糸井重里とか本当に若かったしね。そこを根城にいろんな人がいろんな事やってたんですよ。高杉弾というさらに過激な事をやってる人もいて、末井昭が天才的な編集者として君臨していたしね。そっちの方にいけば何かおもしろい事できるんじゃないかって思ったんです。はじめ、白夜書房にはコネがなくて別の雑誌を一年ぐらい編集してたんだけど、その頃から「Hとは何か」って分析的に考えるクセがついてましたね。

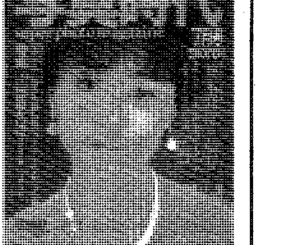
—その頃にいろんな写真や絵に出会ったんですか。

そうですね。その頃本当にいろんな物を見る事ができたね。アートもポルノも見る側にとっては同じ"素材"だっていうことがわかった。イメージとしてのセックスの極限みたいなものを見ちゃったよね。

それらを「自分はどこまで見続けたら飽きるだろう?」というある種生体実験のような気持ちもあったね。どんなものを見てもこうしてドキドキするけど、どこまで見続けたらドキドキしなくなるだろうという恐怖と好奇心があった。それでも今だに飽きないから人間って貪欲だなあと思う。性のイメージって人間の数だけバリエーションがある。

—その中にボンテージなど、いわゆるフェティシュなものもあったんですね。

もう、当時から今日本でファッションとして入ってきているSMの道具や衣装を凄い凄いって驚きながら見てました。そんなものが今のブームのようにファッションとして定着するなんて想像もしなかったね。本当に特殊な世界で一部のマニアのものという印象があったしね。



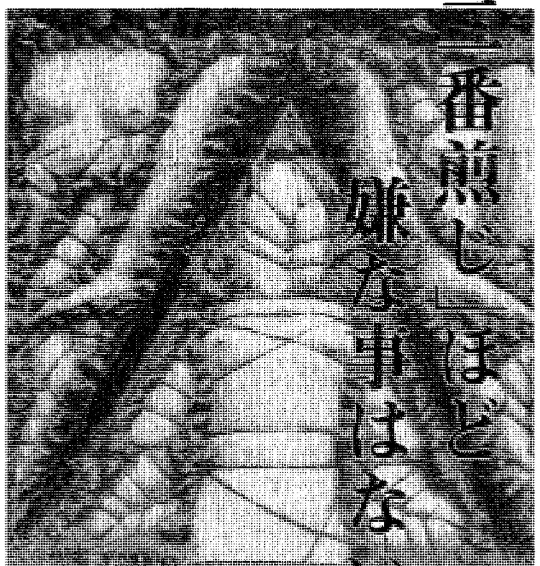
▲今はなき「写真時代」
1982〜1988（白夜書房）

—ユーモラスな文体と多くのビジュアルを使うという独自の手法をとってらっしゃいますが、その辺のこだわりというのはどんな事ですか。

同じ性的な主題を扱うにしても、いろんなスタンスやスタイルがあるでしょ。僕は"二番煎じ"ほど嫌な事はないんです。かなわないと思う人がそのジャンルにひとりでも既にいれば、僕は同じ手法ではやりたくないのね。亜流というか、ナンバー2になってしまう訳でしょ。

自分にしかやれない手法をどうやってみつけるかっていうのは何をはじめるにあたっても、一番大事だと思うんですよ。やっぱり、自分はともかくいい仕事をしている人を見るとそういう意識を強く持っている人が多いですよ。人のやってない事をやろうという意識でいろんなものを見てると、自然と自分のはまる場所が消去法で見つかってくる。その消去法プラス、元来自分が持っているどうしても捨てられない本質的な物がぴったりと重なった時、ものすごいものができると思うよね。僕はその辺が割と好運で、自分の好きなスタイルがたまたま誰もやってないものだった様な気がしますね。もちろん、ウッディ・アレンの映画とかナボコフの小説とか、影響を受けたものはいろいろありますけど。

「二番煎じ」ほど嫌な事はない



▲[illegible]「デジャヴ」より

ART

—伴田さんはアーティストとして挿絵や版画などもなさるという事ですが、それらも雑誌のレイアウトが発端となっているんですか。

編集のバイトをしてる頃はまさか自分がアーティストとして作品を作り、活動するとは思ってもなかったですね。物を書く方には進むと思ってたんだけどね。それで、物書きになって二、三年の頃にビジュアル的なもの、写真とか美術をテーマにして書きはじめたんだけど、これは絶対「アーティストの立場」に寄りそって書かないといけないなと思ったんですよ。

美術評論とかやりはじめると「この作品はこういう意味で、こういう風にすばらしい」などと一言二言書いて、その作家の事判ったような気持ちになるみたいなんですよ。自分の立場を作家の上に置こうとしてしまうんです。でも、僕はそういうのが嫌いです。まずアーティストが一番すごくて偉い人だと思うのね。その人達っていうのは言葉もなにもいらない大変な世界で作品を作っていて、評論家はそれについて述べさせてもらっているという、低い位置で物書くべきだと思ったのね。権威的なモノ言いって、やっちゃいけない。

それはものすごくキツイ事でね。文章の暴力って簡単だから、テクニックを駆使して本当は偉そうにしたいんだけど、アーティスト以下であるという奴隷みたいな立場に自分を置く。まさにセルフディシプリンですよ（笑）。最後にはどうやって権威的でない方法でアーティストを褒めるかという"真心"の世界になるんだけど、そうすると、アーティストという生物に嫉妬心が起きてくるんですよ。自分もそうならないとつまらなくなる。これは評論家にはなっちゃいけない性格なんです。

その頃偶然、ひとりのすごく魅力的なアーティストに出会って「じゃ、作ってみれば?」っていとも簡単に言われて刺激されたという事もあるんだけど、とにかく僕も作ってみたんですよ。最初は、コラージュをもとにしたシルクスクリーンの作品でした。それで、アート界への野次馬根性もあっていろんな公募展に出してみたいんです。そういうのに出す所が非常に俗っぽいんだけど（笑）。

もっとも、コンクールというシステム自体、既にある種、煮つまってるところがあったんですよ。そこにたまたま、僕の出したものが誰もやってないような風変わりな手法だったので、立て続けにいろんなところで賞を獲りました。

賞金も上は二百万ぐらいが普通なんですよ。小説で賞獲ってもせいぜい五十万ぐらいだけど、美術の世界だと下の方でも二十万とかなんですよ。小づかい稼ぎにもなるし、ちょっと賞金荒しみたいな事やって楽しみはじめたんですよ。競馬やるかわりに自分が馬になって走る快感がありました。アーティストの隅にも置けないダラクした姿勢（笑）だけど、アートは実はギャンブルだったという新鮮な驚きもあった。

海外にも作品が行ったりして、アーティストの快感とともに、苦労が判るようになりましたね。ダメなアーティストがつい評論家に頼りたくなる気持ちも判ってきたしね。アーティストって言葉じゃないところで作品を作るから、それを言葉で整理する人を求めちゃうんですよね。でも、それをやらずに自分の言葉を持ち、自分なりのアピールをする事はアーティストにとって必要な資質だと思うんですよ。アーティストが文章を書くとただ訳の判らない事書いてる。そういうことでは残っていけないと思いますね。

—本の装丁などもなさるそうですが。

作品を提供したりはしています。一冊まるごとやったのは上野千鶴子さんの本だけですね。上野さんが僕の個展に来てくれて、その中で気に入った作品を本に使いたいという事で、装丁もやらせてもらったんですけどね。

朝日新聞で連載されていたエッセーなんです。連載のイラストも頼まれて毎週作っていたんですけど、これはすごく楽しかったですね。

本の装丁と言えば鈴木成一という筑波大卒の若手デザイナーと一緒に仕事をした事があるんです。彼は実に面白い仕事をブックデザインのジャンルでやっていて注目しています。荒木経惟さんの写真集とか「is」という雑誌のアートディレクションとかトータルなビジュアルに深くかかわれるセンスがありますね。それで、筑波大には何となく興味を持ってるんですよ。彼やっている若井俊男とかとにかくおもしろい人が多いような気がしてるんですが。

東京芸術大や武蔵野美術大などを卒業した人にはないおもしろさ、発想のユニークさが有るんですよね。すれてないというか、業界的じゃないというかね。

芸大なんかだとまわりを見回しすぎて頭が空まわりして、俺はこの辺だとか見定めちゃう訳。逆に、やたら尊大になっちゃったりね。筑波大の鈴木君なんかはそういう環境と全く違う場所にいたらしくてね。いきなり彼は講談社へ来て編集者をつかまえて「本の装丁やらせて下さい」って頼んで始めたらしいんですよ。有名なデザイナーのところに弟子入りとかしなくても、やる気があれば出来るんですよ。

何をやるにしても、既製のパターンとか序列にこだわらないで、大胆にやってほしいですね。筑波大には期待してますよ。

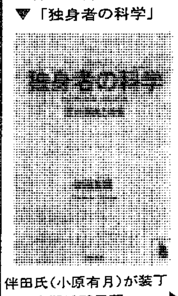
ディシプリンの話からずいぶん広がってしまいましたね。すみません（笑）。

プロフィール

伴田良輔（はんだりょうすけ）

一九五四年一一月一七日、京都生れ。上智大学を中退。その後雑誌の編集に携わり「ブルータス」「SALE2」などに連載。ビジュアルを多く取り入れた独自のユーモラスな文体で「独身者の科学」（冬樹社、河出文庫）コラム集「愛の千里眼」（河出文庫）、「女の都」（作品社）などの著作を出版。現在は「芸術新潮」「ポパイ」「is」などに連載中。版画家、小原有月としても活躍。作品集には「LOVE」（弓立社）、「HER」（若林出版）がある。

伴田良輔著
▼「独身者の科学」



伴田氏（小原有月）が装丁した上野千鶴子著「ミッドナイト・コール」▶

大蔵省主催第15回品評会
全国第一位受賞
日本名門酒会員
天娘
ヒトリムスメ
(株)山中酒造店
代表取締役 山中直次郎
結城郡石下町新石下187
TEL 0297-42-2004(代)
FAX 0297-42-6977

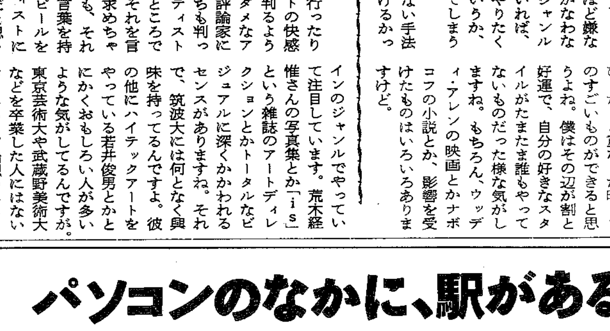
研究社
●もっと語彙の必要な方への26万語
携帯版 リーダーズ英和辞典 定価六二〇〇円・(机)一一、〇〇〇円
収録語数26万、専門語から俗語・固有名まで充実したコンパクトな実用英和
●語義・用例・文型の機能的結合
携帯版 新英和中辞典 定価二七〇〇円・革装四三〇〇円
収録語7万5千、用例8万2千、文型[U][C]表示を改善、新機軸も豊富な最新版
●時代の要請に応える26万語
携帯版 研究社露和辞典 定価八〇〇〇円・(机)二五、七五〇円
見出し語約26万、初の類義語欄を設置、各分野の専門語を多数収録した最新露和
千代田区富士見2-11-3　電話(03)3288-7777
※表示価格はすべて税込定価

出発だ、新しい情感と、新しい雑音のなかへ！
poèmes choisis d'Arthur Rimbaud（河出書房新社版）
いま、ランボー新世代へ。
book review & critique 哲学・思想、文学芸術、一般書、時評、近刊情報、出版広告
週刊読書人は1958年創刊の書評紙のパイオニアです
「全部残しているので定年後はもう一度、読み返したい〈私の大学〉であった読書人に感謝いたします」（京都・一号以来の読者より）
【みほん無料進呈】
お求めは全国の書店・大学生協または左記まで直接お申込みください。
TEL 03-3260-5791
FAX 03-3260-5507
一部二〇〇円　月曜発売　定期一年一万円
半年五三五〇円(〒共)　海外便有
〒162 東京都新宿区矢来町一〇九
編集・発行　株式会社読書人

森北出版　★表示価格は税込定価
日本の幾何 何題解けますか？
深川英俊・ダン・ペドー共著 2,575円〒309円
日本各地の神社仏閣に奉納された「算額」は，幾何学の宝庫であり，和算の数学的水準の高さをうかがい知ることが出来る．本書は，各地の「算額」を取材した著者が，和算家の解法を中心に解答を示した大好評の本．［5刷出来］
数学の文化史 敦煌から斑鳩へ
横地　清著 2,369円〒309円
仏教美術・建築物にとり入れられた幾何画法が文化の発展にどのように寄与してきたかを豊富な図・写真をまじえて親しみやすく記述．
BASICで数学を
八十　勉著 3,296円〒361円
ゆらぎの科学1
武者利光編 2,266円〒309円
〒102 東京・千代田・富士見1-4-11　☎03(3265)8341代表

矢儀・西田・土屋・根本・有村・恒吉共編
同学社版 新修ドイツ語辞典
新書判・一四〇八頁　箱入
定価・三四四〇円（本体三三四〇円）
初学者にピタリ照準!!
1 最新の現代ドイツ語五万余語を収載。
2 発音はカナ表記と音標記号を併用。
3 訳語ごとに句例・文例極めて豊富。
4 毎年の改訂・増補で常に新鮮、充実。
同学社　〒112 東京都文京区水道1−10−7　TEL(3816)7011振替東京5-166920

パソコンのなかに、駅がある。
JRシステムのパソコン通信
JR JRシステム
どこまでいったら未来なのだろう。
そんな気持ちを追い越して…
キーボードをたたけば、
未来が、旅が、娯楽が見えてる。
そんな暮らしの夢も、もう夢じゃない。
JRならではの「使える」情報パック。
pc-stn. PCステーション
1.新幹線・特急列車の予約・空席案内
JR全線の新幹線・特急列車の指定席の予約と空席状況を乗車日ごとに照会できます。
2.新幹線の運転情報案内
各新幹線の運転状況を方面別と列車名から検索できます。見送り、出迎えの場合にも便利です。
3.運賃・料金案内
出張などの際、経路やシーズンによって異なるJRの運賃・料金を瞬時に知ることができます。
4.交通・観光ニュース
私鉄やバス、航空なども含めた交通界の最新情報と全国各地の観光情報をお知らせします。
5.スキー・スケート情報
全国のスキー・スケート場の積雪及び氷質情報をお知らせします。
6.名産品ショッピング
パソコンをカタログ代わりに各地の名産・特産品を注文できます。お手元へ素早くお届けします。
7.情報ファイル検索(観光・レジャー)
全国の主な観光地や温泉等でのイベント・レジャー情報、趣味、娯楽情報などを検索できます。
8.電子メール(ファクシミリメール)
特定の個人やグループ間をつなぐ電子の郵便私書箱です。
9.電子掲示板
会員ならだれでもメッセージの書き込みや読み取りが自由で、企業の商品情報やPRなどにも活用できます。
鉄道情報システム株式会社 本社（丸の内）〒100東京都千代田区丸の内1-6-5 (03)3214-4695



ポ'92 いい企業を探せ！

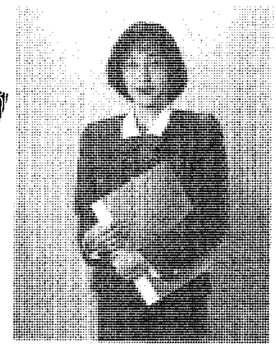
TCS 東京電力グループの総合的なシステム・インテグレーター

東京・虎ノ門駅を降りて歩くこと二分。金刀比羅宮の前をとおると、TCSのすらりとのびた本社ビルはすぐ見つかった。入口は半円状のアーティカルな造り。ちょっとしたショッピング・スポットに来たような玄関だ。

TCSは、東京電力の情報システムの運用と設備管理を目的に設立され、正式名称は東京計算サービス㈱。今年七月で創立十五周年を迎える従業員約一〇〇〇人の情報サービス会社だ。社員の平均年令も三十歳と若い。主要な業務はいわゆる『システム・マネージメント』で、東京電力や同グループの情報処理システムの運用と、そのためのソフトウェアの開発・管理ならびに設備の管理を行っている。また付帯的事業として関連する『データ・エントリー』とコンピュータ設備の『リース』もしている。

第一学群自然学類数学科を今年卒業して入社した山下ゆみさんは、半年に及ぶ研修中で会えなかった。TCSで活躍する筑大の先輩には、そのほか院の修士過程・環境科学研究科出身の降旗邦男さんらがいる。

入社五年目の石橋弘美さんは業務開発部に所属。主に東京電力から依頼された入力の仕事をしている。TCSの職場の雰囲気は、「なごやかで、居心地がいい。情報処理・入力だけではなく、幅広い視点をもってワーキングできるのは、こののびのびとした雰囲気のおかげです」とのこと。出張が多いのでいろいろな所へ行けるのが楽しみという。



プライベートはテニスとゴルフをして過ごす、ショートカットのすがすがしい女性だった。長い休暇の時はホンダVTZでツーリングという一面も。「私と同じで元気がある所がTCSの魅力」と言う。

この十五年間の間に、TCSの企業規模は質・量ともに大きく成長してきた。東電グループの企業として、顧客の情報化ニーズに対応できる技術力・経験ノウハウを蓄積し築き上げた。その結果、企業体質は「受託型」から「提案型」に徐々に転換しつつある。豊富な経験と高水準の技術があってはじめて可能になる転換だ。東京電力のシステムは、その規模・質ともに世界最高であり、TCSの技術と経験は高水準にあるのだ。

将来への展望としては、東京電力グループとして設備の管理運営で蓄積してきたノウハウ・長年の豊富な経験に裏打ちされた技術を社会に還元すること。東京電力という大きなカサのうちに安住せず、高い技術力の仕事の質により、市場にも進出しようとしている。

MCS 五年後のメタSE

「卒論のデータ処理でコンピューターを使ったんだけど、院生におんぶにだっこでほとんどやってもらったんです。でも、情報処理の授業はけっこう得意だったんですよ」と話す西村陽子さんは、一九九〇年に筑波大の人間学類を卒業。MCSに入社して今年で三年目になる。

就職活動もあまりしなかったという西村さん。MCSに入社した理由は機械などが割と好きなので、コンピュータの会社に興味を持ったという。それに何よりも働いている社員の人達と会ってみてその雰囲気の良さにひかれたと話す。

社員の平均年令が男二十九歳、女二十五歳と非常に若い事もあり、西村さんの言うように明るく和気藹々としたところのようだ。

MCSは一九八六年四月、三菱商事直系の総合ソフトウェアハウスとして設立された。つまり、三菱商事グループの情報化推進の中核を担う頭脳集団という訳だ。「ラーメンからミサイルまで」と言われる総合商社三菱商事。MCSはそのソフトハウスらしく商事の海外店のシステム化も大きなテーマでニューヨーク、ロンドン、アテネ、バンコク、リヤド等に若きエンジニアが飛んでいるのだ。

この大きなシステムの中で働く西村さん、「自分のやった事が、まったく違ったところに影響したりするんです。視野を広く持たないと大変ですね」と話す。

MCSはこの頭脳となる「人」を育むために、時間と投資を惜しまない。六カ月間の新人社員研修をはじめとする、長期的な教育計画のもとでシステムエンジニア（以下SE）育成を行っているが、そのSE教育体系は業界でも「ユニーク」とされている。なぜユニークなのか。与えられた問題を解決できるSEは数多い。だが、MCSが求めるのは「自ら発想できるSE」だからだ。「MCSは学校のようだ」と言われる程の徹底した教育体系により、SEを越えた「メタSE」を目指しているのだ。

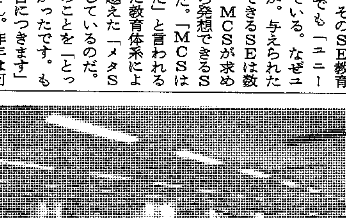
大学時代のことを「とってもたのしかったです。もう、その一言につきます」という西村さん。昨年は何かとマスコミで話題になった筑波大だが、卒業してからも「筑波大が――」と聞くと、やっぱり気になるという。そんなOGのいるMCS。「安心して入社して下さい」と最後に西村さんから。

JALデータ通信 JALの通信システム管理

「テスコム」は一九七八年に、日本航空（JAL）の通信システムの一元的な管理を行うために設立された。以来、JALグループの情報通信分野における中核会社として着実に成長している。

これが一九九〇年に「JALデータ通信」に社名変更し、現在に至った。

今、航空情報システム開発で培ってきた技術が様々な製品となり、多方面で活用されている。大型コンピュータを核とする旅行予約システムや貨物システムはもちろんのこと、旅行総合システムAXESSを全国に展開している。また、マルチメディア通信網の標準となるMHS (Message Handling System) を先駆的に開発するなど、今後もその活躍が期待される企業なのである。



さて今回は、システム開発室のある住友芝浦ビルを訪問した。社内のすみずみに観葉植物が置かれ、その緑が壁の白とうまく融合している。さっそく、今年筑波大学を卒業したばかりの青木光知さん（自然卒）と白石範昭さん（体育専門卒）にお話をうかがうことにした。

学生時代、青木さんはカレッジリーグベースボールに、白石さんは陸上競技部に所属し、割と普通の大学生だったそうだ。現在、二人は研修中であり記号論を中心に勉強している。「大学の講義よりも真面目に取り組んでいると思う」と青木さん。それは「誰かが自分を必要としているから」だそうだ。そのため毎日七時半に家を出て会社に出勤しているが、一度も遅刻をしたことがないそうである。これは白石さんも同様だ。

「就職活動はどれぐらいしましたか」の問いに「四十社ぐらいまわった」、「あまりしていない」といった対照的な答えが返ってきた。しかし、二人がJALデータ通信を選んだ決め手は、「様々な方面に応用が効き、なによりも将来性がある」と共通している。将来性という点で絶対的な自信を持っているようだ。

「大学の勉強と今の仕事との関連性はありますか」と質問すると白石さんは「直接にはないと思うが、体育を学ぶうえでの方法論は役立っている」と語ってくれた。

二人とも、一ケ月前までは大学生だったとは思えないような落ち着きを持っている。今日、勉強したことを復習するらしく鞄には資料がつめこまれていた。二十一世紀にむけ飛躍する企業にふさわしい二人である。

学生援護会 学生によりよい情報提供

「学生時代、アルバイト情報誌"アン"には大変お世話になったんですよ」と話す風野正博さん。一九八九年四月に学生援護会に入社。現在はMDS本部の中の営業部で働いている。

風野さんは「人と接する仕事は自分に合ってるんじゃないかな」と言う。営業の仕事と言えば商社なども考えられる訳だが、風野さんは同期の社員が数千人もいるような大きい集団より、自分の可能性をためすことができる所で働きたかったのだそうだ。「学生援護会は名前はよく知られていますが、そんな大した所じゃないんですよ」（笑）と多少謙遜もまじえて話す。

また、営業部に非常に女性が多い事にはおどろいた。風野さんは「『学生援護会の女性は最近の女性にしては仕事を自らどんどん見つけ、与えられた以上の仕事をこなす』と課長に言われましたよ」と話してくれた。スーツをきちんと着こなし、それぞれの仕事をこなしている女性達を見ていると、何とも課長さんの言葉にうなずけるものがある。

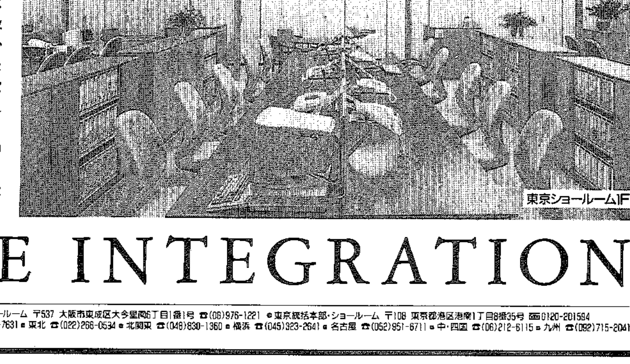
「デイリー・アン」「サリダ」「デューダ」そして、「就職解体新書」と数々の情報誌を出版している学生援護会。学生にとっては最も馴染みのある企業のひとつと言ったところだ。

この学生援護会は一九五六年、学生自身の手によって設立され、下宿の斡旋など当時の課題であった住まいの安定化に取り組み、さらに生活全般の扶助活動も展開。その後学生生活の経済的基盤となるアルバイトに着目、六八年には情報誌の草分けとなった「日刊アルバイトニュース」を発刊した。これが現在、アルバイト情報誌の中で日本最大の発行部数を誇っている「デイリー・アン」の前身だ。

とにかくたくさんのアルバイトをやり、それがサークルのようでもあったと風野さん。京王プラザでウェイターをやった時は自民党のお偉方や有名人にも会ったりしたという。「松田聖子と話をした事もあるんですよ。私がコーヒーをお入れした時に『ミルクをお入れしましょうか？』『はい』と――。それだけですけど」（笑）

学生時代を「アン」と共にすごした人間が、今度はその逆の学生に情報を発する立場に立っている。「学生によりよい情報を」と言う風野さん。学生援護会はこれからも若者をサポートし続ける。

KOKUYO



企業を動かすワーカーのためにオフィスをどう機能させるか。さらに、企業を取り巻く社会とどう関わり合うか。これからのオフィスは単に人に優しいだけでなく、企業と人と社会の調和をも考えた空間づくりが必要です。企業的な価値と人間的な価値、そして社会的な価値を与えることで、オフィスの潜在能力を引き伸ばし、人間的な活力を拡大できるはず。コクヨはこうした複合価値を統合し、次代のニューコンセプトを提案します。

OFFICE INTEGRATION

コクヨ株式会社 ●本社・大阪統括本部・ショールーム 〒537 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号 ☎(06)976-1221 ●東京統括本部・ショールーム 〒108 東京都港区港南1丁目8番35号 ☎0120-201594 ●支店／北海道 ☎(011)632-7631 ●東北 ☎(022)266-0534 ●北関東 ☎(048)830-1360 ●横浜 ☎(045)323-2641 ●名古屋 ☎(052)951-6711 ●中・四国 ☎(06)212-6115 ●九州 ☎(092)715-2041

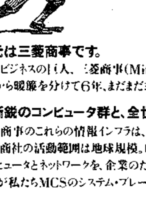
当社は、就職という、
重要な節目を迎える大学生に、
貴重なデータや情報をお届けしています。
公正で客観的な企業データを中心に、
さまざまな情報を提供。
大学生と企業を結ぶ強力なパイプトして、
これからも大切な就職活動に、
プラスαをお届けしていきます。

就職解体新書

大学生と企業を結ぶ太い「絆」。

株式会社 学生援護会MDS本部　〒160 東京都新宿区本塩町21 住友生命四谷第2ビル7F ☎0120-306531　〒541 大阪市中央区安土町3-2-14 本町河野ビル2F ☎0120-090030

三菱商事の21世紀を築くエム・シー・ソフトウェア



親元は三菱商事です。
国際ビジネスの巨人、三菱商事(Mitsubishi Corporation：略称MC)が、私たちの生まれ、育った親元です。
そこから暖簾を分けて6年、まだまだヨチヨチ歩きですが、三菱商事グループの若きシステム・ブレーンとして羽ばたくのも、もうすぐです。

最新鋭のコンピュータ群と、全世界をカバーするネットワーク。あなたならこれを何に使いますか？
三菱商事のこれらの情報インフラは、その整備・拡充を含め全て私たちMCSの手の中にあります。それにシステムの息吹きを与える。総合商社の活動範囲は地球規模。ビジネスの領域には際限がありません。全世界を舞台に、あらゆるニーズを対象に、コンピュータとネットワークを、企業のため/日本のため/世界のため、そして人類のために何に使うか。
これが私たちMCSのシステム・ブレーンとしての役割です。あなたならどうしますか。

■企業概要
設立／昭和61年4月　資本金／2億円(三菱商事80%、三菱事務機械20%)　従業員数／139名(男子96名、女子43名)92年4月1日現在　平均年齢／男子29歳、女子25歳　売上高／22億円(91年実績)　事業内容／総合ソフトウェア業●各種アプリケーション・システムの企画・開発・運用・管理●大型システム/ネットワークの企画・構築・運用・管理●汎用アプリケーション・システム/システム開発・運用支援ツールの開発・販売●ソフトウェア/情報処理に係わるコンサルテーション　事業所／本社(上野)、三鷹コンピュータ・センター　【連絡先】エム・シー・ソフトウェア株式会社 〒110 東京都台東区上野1-10-12 商工中金・第一生命上野ビル9・10階 総務部／☎(03)3837-3113(直通) ☎0120-311380
※業容の拡大に伴い92年11月には文京区小日向4丁目に現在建築中の新ビルに移転する予定です。

MCS エム・シー・ソフトウェア株式会社 三菱商事直系

企業ル

四年生に贈る

不況に強

優

インターナショナル システムサービス

自惚れない 成長産業

「インターナショナル・システム・サービス株式会社 システム本部 開発グループ 第六システム 日原広志」これが入社して一年目になる日原さんの肩書きである。毎日六時に起きる。中野の自宅を出て七時五十分には出勤。八時からは情報処理技術者試験に備えて勉強会をする。九時、ミーティング。それから一日の業務が始まる。忙しいときには残業もする。けっして上司から言われてするのではなく、自分で決めたノルマをこなすためだ。入社して一年目まだだやることがある。そしてどんどん仕事の魅力というものが見えてくる。

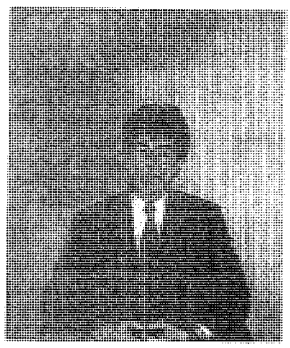
彼がこの仕事につこうと思ったのは四回生の七月である。それまでの就職活動では銀行などにいっていた。しかし、そんななか、業界自体が若く、将来性もあり、国が支援していて、しかも技術者不足のソフトウェア業界に注目していた。彼は東京大学文学部出身である。文系の彼にとってその業界は未知の業界であったが、今後の情報産業は単に技術者だけでなく、その集団をいかにうまく活用し、経営するかが大きなポイントになる。それならば文系であることは絶対的に不利ではない。むしろ、文系の視点こそ必要とされるはずだ、と考えたのである。そして彼は規模より質、さらにトップに立つものがしっかりとしたビジョンを持っているかということを基準にした。成長産業と自惚れていてはだめなのだ。彼の厳しい選択眼にかなったのはISSであった。

入社して感じたことは思ったよりも雰囲気がソフトであったことだ。昔は体育会的な人間が多かったらしいが今はそんなことはない。最初は文系ということもあってイメージがつかみにくかったと彼は言う。しかし、しっかりした研修と実際の場でもまれていくとそんな不安は消し飛んだ。今彼は断言している。「文科系でも絶対に大丈夫」と。ISSの特徴のひとつとして、「派遣は絶対にしない」というのがある。派遣というのは他の会社で机を借りて、その会社から給料をもらって働くというこの業界ではよくあることだ。当然不況になれば真っ先に切られる。安易に労働力を売ることはしない。そこを彼は大いに気に入っている。通産省もそこを高く評価しているからこそ、システムインテグレーターとして認定されるのである。

日原さんは陸上競技部に所属していたので筑波という「陸の王者」というイメージがあるそうだ。そんな筑波大生に一言「ソフト業界を回るなら、イメージだけをアピールしたパンフレットにだまされてはいけない」なるほどの一言である。

日本バイリーン

"不織布" 御存知ですか？



紙でもなく布でもない、新しい素材、不織布（ふしょくふ）というのを御存じだろうか？紙おむつからインテリア素材、エアコンのフィルタなど、その用途は実に多種多様。毎年十％以上のスピードで市場拡大を続けており、産業界からも注目を浴びているのだ。

日本における不織布最大手が日本バイリーン株式会社だ。同社はドイツのカールフロイデンベルグ社（CF社）から技術を導入し、大日本インキ、東レとの日独合弁で昭和三五年に誕生した国際連携企業。設立十年で上場、現在は従業員千四百人、年間売上高約七百億円という急成長ぶり。

同社人事部の古川昇一（八九年入社・社会学類卒）さんを訪ねてみた。

東京・外神田のオフィスはいかにも外資系企業らしく、クリーンでおしゃれな印象。しかし古川さん曰く「経営は日本企業よりも日本的かもしれない」。同社はCF社の極東戦略の一翼を担う一方、自ら開発・生産部門を持っており、独自のアイデンティティを築いてきたという。それが日本のマーケットニーズに応えた商品開発、きめ細かな技術サービスを生み出し、不織布全体で四七％、エアフィルタで八〇％、中入綿で七〇％という高シェアを握る要因となったようだ。

ユーザーと一体になってよりよいものを作っていこうという企業姿勢から、採用選考する際にも「相手の話をきちんと聞けること、自分の考えをきちんと伝えられること」を重視するという。この点、筑波大生に関して、卒業生ゆえ贔屓めと断りつつも「相手と誠実にコミュニケートしようとする方が多く、好感がもてる」と評価してくれた。

さらに、就職活動に関して筑波大生に一言。「大学を選ぶ際に将来性で選んだ方が筑波大学には多いと聞きます。そうであるならば〝よらば大樹の陰〟という発想で企業研究するのではなく、自分の視点で将来を見極める努力を怠らないで下さい」と、安定志向の強い筑波大生には手厳しいが心強いお言葉。

企業PRも忘れていなかった。「不織布の用途拡大はまだまだ続き将来性抜群です！そこで不織布の可能性を追及し、これからの事業を若い力で創り出していく意欲ある方を採用・育成したいと考えております」

さすがは人事担当者、ソツがないな、と妙に感心しつつ、日本バイリーンをあとにした。

コクヨ

統一コンセプトは〝人〟

品川駅前のコクヨ東京支社ビルに入ると、まるで青山のギャラリーに来たようなロビーがある。やすらぎを感じさせる簡潔でダイナミックなインテリア。コクヨでは、「オープン・オフィス」といってオフィス全階を公開している。各フロアーが上品な基調色で統一され、美観と能率を兼ねそなえていた。

日本中の人間が子供の頃からお世話になってきた〝文房具〟のコクヨ。しかしコクヨの製品は文房具にとどまらない。今では第二製品（オフィス家具をメインにした家具類）が、第一製品（紙関係）を抜いて売上比率六割を占めているのだ。

今回インタビューに答えてくれた鈴木優香さんも、第二製品であるニュー・オフィスの設計者。平成現年度芸専卒の筑波大のOGだ。

鈴木さんは芸専では構成コース（立体）を専攻していた。頻繁な作品提出におわれる中、クレオのバイトではディスプレイの仕事もした。

コクヨでは、入社早々から三カ月の研修を終えると物件を持たされる。他社ではまず無いことだ。「楽しくもあるが、恐いのもある」との弁。フレックスタイム制で、朝は十時半までに出社すればいい。しかし一人で二〇～三〇の物件を受け持つためかなり忙しく、夜は遅くなることも多いと言う。就職については、「自分と会社の方向性が一致するかを見て就職した方がいい。コクヨは仕事をする人にはいい所。最初から主体的に働きたければ向いています」。

顧客に、単に美しいオフィスを提供するのではない。新しく機能性をもったオフィスで仕事をしてもらうことで、顧客の意識を変え、仕事への意欲をもってもらう。この『顧客を変える』というモットーを熱っぽく語る姿が印象的だった。あくまでも人間をオフィス構築の基本としてとらえるのがコクヨの姿勢なのだ。

渋谷の東急本社に隣接して誕生した新しい形の商業・文化施設BUNKAMURA。ハイテク・シューボックス型ホールをもつこのエネルギッシュな建物内部には、随所にコクヨ製品が使われている。また、インテリジェントビルとして名高い梅田センタービルのオフィス・プランニングもコクヨ。〝ノート・文具の〟コクヨは、猛烈なスピードでインテリジェント・カンパニーの道を歩み始めている。高度情報ネットワークという確かな武装を確かめながら。

CAC

一貫したシステム構築

「会社に食べさせてもらうような社員にはなりたくない。会社をしょって立つようになりたい」と今年の四月コンピュータアプリケーションズ（CAC）に入社したばかりの矢島正治さんは語る。少し照れ臭そうに話すその表情は、新社会人としての初々しさと、意気込みを感じさせる。学生時代は何気なくすぎていったというが、今振り返ってみると気ままであったともいう。

矢島さんは東京都立大学法学部の出身である。入学当初は司法試験を目指していたが、矢島さんいわく「ちょっと難しかった」(笑)

そんな彼が新たに注目したのが情報サービス産業だった。「クリエイティブな仕事がしたかったし、自己研鑽して身につけたものがストレートに活かせるところにやりがいを感じた」という。就職活動は企業セミナーなどを主に利用し、情報集めなどは自分でやった。そうして就職活動をしていく中で、彼はCACに注目する。CACは情報サービス産業がまだ黎明期だった一九六六年に創立され、当時としては珍しく、完全独立系であった。ユーザー本位の経営方針はしっかりしており、他の会社がいいかげんに見えた。そして何よりも情報サービス会社にしては地味なパンフレットが質へのこだわりを現していたという。そこに矢島さんは一本筋の通った所を見いだした。派遣や下請けをやらず、システム全体をデザインする一貫した姿勢にも共感を覚えた。

そして彼は今、新人研修の真っ只中だ。

埼玉の自宅から毎朝火曜社会人になってみて学生時代とのギャップを感じた。平日に遊ぶ事は少なくなった。大好きな日曜深夜のF1の実況中継も翌日のことを考え、ビデオに撮って見ている。毎日ネクタイを締めていくのも最初は抵抗があったという。しかし、和気あいあいとした職場はいい感じだ。文系出身の彼にとってコンピュータを扱うというのは、少なからず不安があったが、誰でも充分理解できる充実した新人研修は居心地が良すぎるくらいだそうだ。近い将来、通産省の情報処理技術者の資格試験にチャレンジするつもりだ。

今の学生に一言、「学生時代にしかできないことを思いきりやって社会に出た方がいいですよ」。

研修に励む矢島さんは今年、夢のF1観戦に行くことができるだろうか。

あなたも新しい顔を作ってみませんか？

●文字には顔があり、名前も付いています。あなたも新しい顔を作るために、タイプフェイスデザイナーへの道に挑戦してみませんか。

●ラボゴ 顔 ●ゴナOS 顔
●ナールO 顔 ●織田特太楷書 顔 ●ナールL 顔
●オクギ 顔 ●スーシャB 顔 ファン蘭OS 顔 ●ゴナH 顔
●イナひげ 顔

写研

●文字のこころを大切に／――写研／本社／170 東京都豊島区南大塚2-26-13 ☎(03)3942-2211

ISSはスモールサイズのソフトウェア技術者の集団です。

ISS

インターナショナル・システム・サービス㈱
●通産省システムインテグレータ認定企業
●米国商務省認定企業

●でもソフト業界でソフト開発専業企業として、23年間の歴史は、重みがあります。
●通産省システム・インテグレータ認定企業（認定企業二百数十社の中、小社は最少規模です。）、社員一人当りの売上高、設備投資状況等、ひとつ一つのデータは、大手のソフトハウスに引をとらないものがあります。
●小社の社風は、安定と安心を求めてはいません。チャレンジする精神を求めます。安定と安心のぬるま湯の中では、企業も人も育ちません。
●「社員を大切にする。」「人間を大事にする。」とはよく聞くセリフですが、言うは易し、行うは難し、小社では社員の出向・派遣は一切行っていません。
●この紙面だけでは貴方に、小社を正確にアピールすることはできません。貴方の目で直接確認され、評価して下さい。小社訪問を歓迎します。

会社概要

設立	昭和44年2月
資本金	3000万円
代表者	代表取締役社長 宇野 義人
従業員	158名（男127、女31）
事業内容	①ソフトウェア開発 ②アウトソーシング・サービス ③ソフトウェア・プロダクト・サービス
事業所	本社・第二システムセンター／東京都港区芝公園1-7-24 第一システムセンター／東京都江東区東陽4-1-7
売上高	'89年度 26億1400万円（一人当り2630万円） '90年度 26億3000万円（一人当り2120万円）

採用要項

職種	システムエンジニア、プログラマー
採用学部	全学部全学科
初任給	大卒 187,000円（平成4年度）
採用担当	第一システムセンター管理本部 TEL.03-5690-1611／飯田、辻田

高品質を誇る医薬品を通じて

健やかな明日を築く

日研化学株式会社

〒104 東京都中央区築地5-4-14

☎03-3544-8745

不織布生活ZOO鑑

暮らしを彩るバイリーンの動物広告シリーズをまとめてみたら、こんなに楽しいZOO鑑になりました。

「不織布ふしぎ図鑑」 バイリーン その1

エラ機能。

夏です。魚のように自由に泳ぎ回れたらいいですね。これは水中で酸素を吸収するエラのおかげですが、不織布にも似た働きがあります。空気中から必要な酸素を、あるいは任意の成分をとりいれる機能で、いずれ空調やクリーンルームでも活躍しそう。魚と不織布どちらもまったくエラいのです。

「不織布ふしぎ図鑑」 バイリーン その2

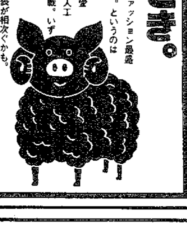
ラクダ効果。

カラッカラの東京砂漠。何だかラクダのコブが欲しい気分。このコブ、一種の水分や栄養の補給装置ですが、こんな機能があったら砂地も緑に変わるだろうな…と考えられるのが高吸水性樹脂を使った不織布を砂漠に埋める方法。これなら緑のラクダもカラダがラクダという木陰でうかも!?

「不織布ふしぎ図鑑」 バイリーン その3

羊もどき。

秋冬情報も出揃い、ファッション最盛期に耳よりなお話です。というのは最近の欧米デザイナー諸氏、自然保護や動物愛護の考え方に共感し、人工皮革ファッションに挑戦。いずれ日本でも風合いもシープスキンさながらの不織布による新作発表が相次ぐかも。



生活素材産業へ

vilene®

日本バイリーン株式会社

●本社 〒101 東京都千代田区外神田2-14-5 バイリーンビル ☎03-3258-3335（人事部）
●お気軽にお電話下さい。

企業ルポ'92

不況に強い優企業を探せ！

写研

写真植字機業界のトップメーカー

「写研」。あまり聞かない名前だが、実は、写真植字機業界では他社を完全に圧倒しているトップメーカーである。石井裕子社長のもと、総勢千二百余名の社員が、文字文化の発展に貢献すべくその力をフルに発揮している。

写研の業務は、単に写真植字機の製造販売にとどまらず、大別すると、八の業務を行っている。写植文字のデザイン・製造、手動・電算写植システムの製造、ソフトウェアの開発、関連資材の製造・販売、写植技術者の養成、アフターサービス、写植に関する研究とPRなどである。国内は北海道から九州・沖縄まで、海外でも東南アジア、アメリカ、ヨーロッパなどに進出して業績を上げている。

文字文化発展の一翼を担うべく、一九七〇年以来、二年に一度実施している「石井賞タイプフェイスコンテスト」は、若き文字デザイナーの登竜門になっており、一九七二年より開催している「漢字読み書き大会」は、今や夏の風物詩となっている。

また、同社の調査によると、「アンアン」「ポパイ」など、人気の高い雑誌三〇誌の使用書体のうち、約九五%までが写研の書体を使用しているという結果が出た。

入社二年目の臼井直樹さんは、昨年十月まで研修を行った後、入力編集機のソフトウェア開発に携わっている。大きい企業よりは、自分のやっていることがよくわかるだろうということで、中堅企業に狙いを絞っていた。業界で圧倒的に一位、やっていることがユニークであることなどから、写研を選んだ。「文字の文化をつくっている」ということが、励みであり、面白さでもあるそうだ。

開発に携わっているのは、若い人が多く「自分で最後までプログラムをつくれるので、仕事には充実感がある」という。国文系の人も、開発に参加しているが、構文解析等の知識を生かしていいプログラムをつくってくるそうだ。

会社は、規模の手頃さから、「家族的でアットホームな雰囲気」で、若い人でも気軽に意見が言える」そうだ。完全週休二日制で、営業と開発部門はフレックスタイム制を採っている。

年間休日は一二六日を数え、この夏にはリフレッシュ休暇制度も導入される。

臼井さんは現在、志木のアパートから埼玉県和光市の工場に勤務、冬は学生時代からやっていたスキーを楽しんでいる。「これからの新しい文字や組版をつくっていけたらいい」そうだ。

JR東日本システム

JRグループの情報部門

つねに世界をリードしながら発展してきた日本の鉄道。その信頼性・利便性を支えるための高度な情報通信システムの技術資産を国鉄からそのまま継承、拡大してきたのが鉄道情報システム株式会社（JRシステム）である。JRグループの一つとして一九八七年に営業を開始した。

JR鉄道会社を情報・通信の面からサポートし、国鉄時代の全国規模の情報ネットワークを自社の付加価値通信網「JR-NET」に発展させ、一元的に管理している。我々にもなじみ深い「みどりの窓口」の座席の予約やチップ販売システム、貨物のコンテナシステムなど、さまざまな情報システムを開発・拡大してJR各社の多種多様なサービス展開にこたえている。

今回インタビューに答えてくれた鈴木和男さんは一九九一年に筑波大学情報学類を卒業し、同年四月にこの鉄道情報システムに入社した。現在は東京都国分寺市にある中央システムセンターの開発事業一課に勤務している。ここでの鈴木さんの仕事は、新端末の開発である。鈴木さん曰く、「要するにいかに安くて、小さくて、使いやすいコンピューターを作ることができるか」ということだそうだ。

鈴木さんがこの会社を選んだ理由は大学での専攻に合った職種だったということは言うまでもないが、趣味をも活かせる分野だったということも大きい。鈴木さんは、鉄道ファンで、学生時代もよく、鉄道で各地を旅行したそうだ。JR各社の中でも旅客というよりも、コンピュータ関係の色合いが強く、かつ、鉄道ファン」という趣味をも活かせる〝JRシステム〟は鈴木さんにとって最適の職場だったのである。

就職活動では初めからJRシステム一本に絞っていたそうだ。「やはり自分のやりたいことを職業選択には重視すべきですね。またいろいろな情報が就職活動の時期には飛びかいますが、惑わされてはいけないと思います」と、これから就職活動をしようとしている後輩にアドバイスしてくれた。

JRシステムは景気の変動には左右されず、不景気とされる近年でも、「人手はほしい」とのこと。また、ここは若い人が多く、勤続五年という人が三割近くを占め、積極的に若い人に仕事がまかされるそうだ。

鈴木さんも最近ではコンピューターの設計など重要な仕事がまかされるようになったそうだ。職場の雰囲気は明るく、クラブ活動もさかん。完全週休二日制で、比較的長期休暇もとりやすい。また「JRシステムの一員」ということの社員特典もある。

趣味と実績をかねた職場で働く鈴木さんの職場について語る言葉には、一言一言自信があふれていた。

日研化学

高品位の医薬品を社会に提供

日研化学は戦後間もない一九四七年に設立された。優れた技術力を背景に高品質の医薬品を社会に提供、国民福祉の維持向上を合言葉に数々の実績を積み重ねてきた。医薬品においては、循環器系薬剤、代謝系薬剤および消化器系の成人病薬剤の研究開発に重点を置き、さらに臨床検査薬分野にも進出。他企業、公的機関との共同研究や、欧米諸国との技術提携、共同開発など、常に新しい医薬品の創出に力をそそいでいる。

また自社の医薬品販売活動は全国を網羅した支店、営業所、出張所の販売網を拠点にして、計画的な学術教育研究を受けた医薬情報担当者（ML）が直接医療機関に出向き、情報提供活動、普及宣伝活動を行い、全国各地の有力客と密接に強力しながら、需要に即応できる十分な体制を確立している。

今回お邪魔した埼玉県大宮市にある大宮研究所は大宮事業所内に独立して設置され、有用物質のスクリーニング、前臨床試験、製剤化にいたる一連の研究に取り組んでいる。その探索研究室に勤務している大谷健さんは入社して二年目。大宮の研究室で二年間研究したのち、マスターを取ってこの会社に入った。大学では農学部の畜産関係を専攻。今の仕事は大学の専攻と全く違う分野ではあるが、薬品を開発する際の実験の組み立て方、持っていき方など理系という面では一緒であり、大学での勉強は充分活かされていると言う。新しい薬品の開発はもちろんであるが、他の会社や外国の企業から入ってきた新薬の試験や改良、共同研究などが大谷さんの仕事となっている。

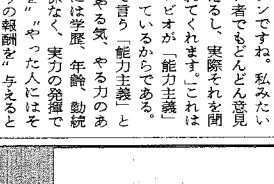
大谷さんがこの会社を選んだのは、大学のOBの影響が大きかったそうだ。

「OBの話は細いところまで詳しくて、会社のことがよくわかる。OBは大いに利用すべきですね」大学の四年生の時点で日研化学への就職を決め、さらにマスターへ進んで、研究員として入社したそうだ。

「就職活動はあせることはない。あせって会社に入ることはない。会社のためにどれだけ働くかではなく、どれだけ自分のために会社のものを吸収することができるかが大事なのではないかな」と大谷さんは語ってくれた。

研究所ではフレックスタイム制が導入されていて、午前十時までと、午後三時以降の時間帯で労働時間のはじめと終わりを自由に設定できる。また完全週休二日制で、担当している実験の組み方によっては長期休暇も比較的ラクにとれるそうだ。福利厚生施設も充実しており、箱根や蔵王など各地に保養所を所有している。

「会社の雰囲気は比較的のんびりしていますね。ノルマなどきつくないし、自由な面が多いです。反面、少し厳しさがたりないかなと、意欲充分に語ってくれた。



富士レビオ

能力主義的な新薬開発を手掛ける

国産初のAIDS診断薬を開発し注目を集めた製薬会社である。予防医学の時代に欠かせない臨床検査薬を始め、血液を原料とした血漿分画製剤を含む、医療用医薬品を柱として事業を展開しており、中でも臨床検査薬分野では業界でもトップクラスである。

「医療に国境なし」の考えに立つ同社は、早くから海外へ製品を輸出してきた。会社発展のカギは、「国際的に通用する新製品を生み出すこと」だと考え、社員の二五パーセントを研究開発に、また売上高の一六パーセント以上を研究開発費に投入。独自の技術を確立し、次々とヒット製品を誕生させている。

西新宿の高層ビル街の一画にある本社にお邪魔した。

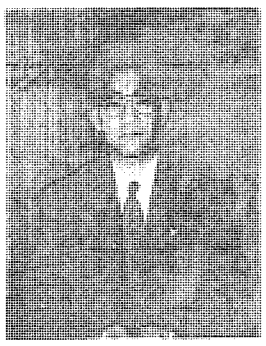
昨年四月に入社し医薬開発部に所属している吉田さん。薬科大学出身の彼は就職するなら医薬品メーカーと決めていたこともあり、富士レビオ一本にしぼっていたという。大学時代は「生化学研究会」というサークルに所属し、化学についてゼミを開いたり、実験をしたり。しかし「大学でやっていた事と今やっている仕事は全く関係がないけど、やっぱり全然違いますよ」と吉田さん。

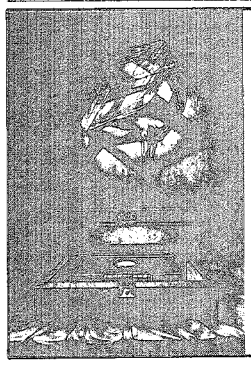
医薬品ができるまでには、まず動物等を使った前臨床試験を研究所で行ない十分な安全性が確かめられたのち、医師に依頼し臨床試験として実際に病院で患者に投薬してもらう。最終的に製品として世に送り出されるまで十年単位の歳月が費やされるといわれる。彼の所属する医薬開発部では前臨床試験を医師に依頼し、薬物としての有効性・安全性を確かめ、病気の治療における有用性を確認するという役割を担っている。

同社では全体の新人研修が二週間ほどで実施される。営業配属のものには引き続き研修が行われるが、営業以外の部門の新入社員は、全体研修後ただちに現場に配属される。何よりも実地の訓練が物を言うという考えだ。吉田さんも例にもれず研修後すぐに降圧剤（血圧を下げる薬品）の臨床試験という、重要な仕事を任された。職場では教育指導員制度を取っており、先輩社員がマンツーマンで新入社員の相談役を引き受ける。

彼の仕事は、その降圧剤の試験薬を医師に依頼するだけではない。そのための繁雑な手続きをこなし、試験の進行状況を聞きに病院から病院へ飛び回る。「一週間の半分以上は外出していますね。日本中の病院に試験をお願いしているので出張が重なって大変です」一カ月に一回は各病院を訪ねなければならないという。医師に電話すると「忙しいからいちいち電話するな」と怒られることもある。

「社内の雰囲気は比較的オープンですね。私みたいな若い者でもどんどん意見が言えるし、実際それを聞き入れてくれます」これは富士レビオが「能力主義」をとっているからである。ここで言う「能力主義」とは、〝やる気、やる力のある人には学歴、年齢、勤続に関係なく、実力の発揮できるを〟〝やった人にはそれなりの報酬を〟与えるということを基本にしている。今後相次いで新製品の登場が見込まれ、将来性が高いと言われる富士レビオ。どういう人間になるのかという目的を持った人間、プラス思考で物を考えられる前向きな人間を求めている。





筑波大学学生新聞会

設　立／1982年
資本金／100億円
経営収益／3,765億円（92年5月期）
平均年齢／20.2歳
事業内容／新聞の発行
初任給／大卒 183,000円（主に高卒を採用）
つくば市天久保3-9-5　オオキビル3F
人事部　☎(0298)52－4460

「際限のない創造空間……
あなたに活躍のステージを用意しました。
夢実現の過程にご一緒しませんか？」

NEC日本電気グループの上場企業である日本アビオニクスより平成元年2月に独立したシステムエンジニアリング会社です。安定した経営基盤と高度な技術水準を誇り21世紀にむけてのシステムテクノロジーを展開中であります。

アビオシステムテクノロジー㈱
〒150 東京都渋谷区鶯谷町2番3号(COMSビル)
TEL. 106(コレクトコール)－03－3462－8800

《自社広告》
「おい
そこのお前、記事書け!!」
※筑學新、サークル説明会は毎週月曜8時半より。TEL.52－4460
天久保3-9-5　オオキビル3Fにて

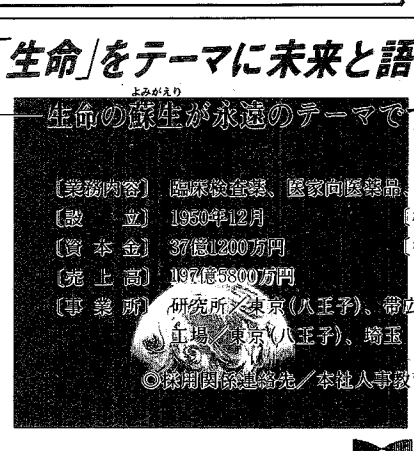
『我社の特徴』
☆第一に、1995年までに貸方の財産を6,000万円以上にしてあげます。
（社員持株制度によって、社員各人が最低100万円以上の自社株を持つ事をすすめています。3年後には上場予定ですので、おそらくそれが60億以上になるでしょう。）
☆第二に、我社には技術者魂を満足させるような刺激的ないろんな分野の開発の仕事が貴方を待ち受けています。
（我々はニーズはやりません。常にマイコンを応用したいろんな新製品の開発を行っています。それを世の中へ次から次と送り出して、貴方は世の中に対する貢献を味わうでしょう）
☆第三に、経営計画を毎年年初に社員の前に提示し、又決算書を明らかにしています。
又年2回の賞与の外に決算賞与で利益を社員に還元しています。
（経営もガラス張りにして、社員全員で上場に向けてがんばっています。その外休暇は年に125プラス有給と多く、社員旅行も海外です。）

会社見学大歓迎

■会社概要
設　立／1983年6月
資本金／1億円
代表者／代表取締役社長　石松　清毅
売上高／13億3千万円
社員数／140名
平均年齢／24.5才
事業内容／マイコン応用システムの開発および量産（ソフト・ハード）
採用学部／全学部全学科
初任給／大卒 193,000円（平成4年度）

マイクロテクノロジー株式会社
〒101 東京都千代田区外神田5丁目1番2号 末広ビル TEL833-8080番(代表)

「生命」をテーマに未来と語りたい。
――生命の蘇生（よみがえり）が永遠のテーマです。



【業務内容】臨床検査薬、医家向医薬品、医療機器・器具の製造販売及び輸出入
【設　立】1950年12月　【株　式】東証一部上場
【資本金】37億1200万円　【従業員数】880名
【売上高】197億5800万円
【事業所】研究所／東京(八王子)、帯広、宇部　営業所／全国13ヵ所
工場／東京(八王子)、埼玉　本　社／東京(新宿)
◎採用関係連絡先／本社人事教育部　フリーダイヤル 0120-305529
又は ☎ 03-3348-0814

富士レビオ株式会社
〒163 東京都新宿区西新宿2-7-1　新宿第一生命ビル12F

マイクロテクノロジー
マイコン技術の最高峰

「エベレストを目指せ！」マイコン技術の最高峰を極めよう、という合言葉をモットーに急成長を続けている会社がある。一九八三年に設立され、今年で九周年になる、マイクロテクノロジー㈱という会社だ。元営業マンだったという同社の社長石松清毅氏一人によって始められ、現在では社員一四〇名まで増えた。同社は一九八五年ごろから毎年三〇～五〇％の成長率で売上が伸び続けており、今後もそれ以上の成長が見込まれている。

これらの成長を支えてきたひとつの要因は、マイクロコンピュータの応用・システム化技術を核にして、最適システムの構築を提言してきたからである。業務は、基本設計、システム開発、そしてプロトタイプ（試作品）の製作とステージを上げていく。ここで開発業務を終えるのが一般的であるが、同社ではその後の工程、つまり外注工場による最産品の製作まで携わることを大きな特色としている。このことが業績を伸ばしてこれたことの要因の一つだ。

またマイクロテクノロジーはコンピュータ業界の時勢に合った企業といえるだろう。というのは、最近同業界では半導体の技術革新等で小型機の性能が飛躍的に向上したことにより、大型コンピュータの流れがパソコンやワークステーションによる分散処理の流れに押されるという『ダウンサイジング現象』が起きている。創業以来マイコン応用システムの開発に徹してきた同社はこの時流にうまく乗っているといえる。

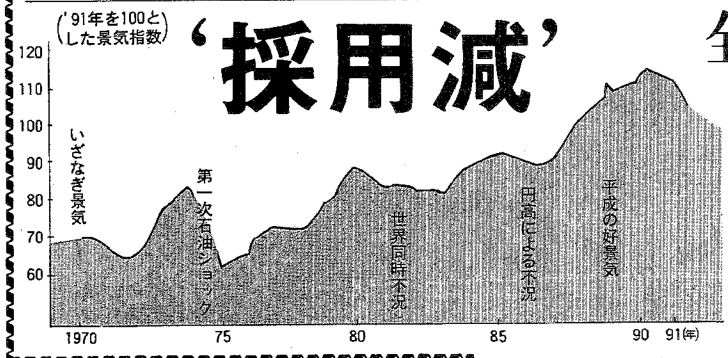
仕事の柱は四つ。一つは通信など各種制御システムの開発、二つめがOAソフト、及び機器の開発、三つめはコンピュータ・グラフィックや画像処理、四つめがエレクトロニクスや楽器等の民生分野。メインとなるのは各種制御システムの開発である。通信制御システムの開発はマイコン応用技術の中でも最も高度な分野である。それを業務のメインに据えたのは、「エベレストを目指せ！」をモットーとするマイクロテクノロジーらしいといえよう。

技術力で勝負していこうという同社は何よりも人とその技術を大切にしている。大手ソフトウェアハウスの中には、出向き・派遣で事業を拡大してきたところも多い。しかし、同社は人間の使い捨てはしたくないという。石松氏は言う。「私の経営信条は、人間性重視、すなわち人と人の結びつきこそ大切であると信じておりこれを「人本主義」と名付けています。定義づけるならば、人が経済活動の最も本源的な資源である、ということになります。人本主義の実践として、社員に経済的、精神的なゆとりと仕事のやりがいを如何に与えるかだと考えています」。また、同社では充実した新人研修によって文系・理系を問わない体制を確立している。

ところで、マイクロテクノロジーには、大企業には絶対まねのできない特徴がある。「社員持株制度」により、社員各人が最低百万円以上の自社株を持つことを薦めているのだ。これにより、一九九五年までに社員一丸となって、株式公開を目指している。それが達成された場合、自社株が数十倍以上になり、全社員が各自数千万円以上の財産がもてることになる。

まさに急成長産業、未来の中核産業といえるマイクロテクノロジーは「エベレストの頂上」を目指して、一歩また一歩と技術のグレードアップを続けている。

‘採用減’ 全企業中42%
本誌企業アンケート調査



今年も四年生は就職活動に勤しむ時期となった。しかし、今年はバブル経済崩壊後はじめての就職活動であり、昨年までの売手市場と同様という訳にはいかなそうである。不景気と言われる中で、採用人数を減少する企業などが出てくるのは当然のごとく予想される。昨年より厳しくなる事はいさめない。そこで、本紙では東京都内を中心とする企業六〇社にアンケート調査を行い、今年の就職活動を分析してみた。

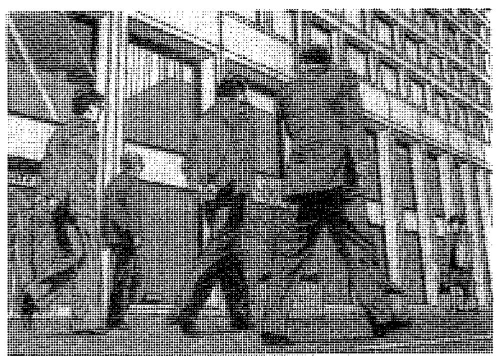
逆バブル不況というか、酔い冷め不況というか、バブル経済が弾けたうえに、米国景気の後退が重なり、日本経済の生長に急ブレーキがかかっている。企業収益も、九一年度決算は全産業の経常損益ベースで一〇％強の減益、今年度も横ばい予想と状況は厳しい。

そんな中の就職特集号ということで、今回本紙では任意に選んだ企業六〇社を対象に景気後退に関する調査を行った。対象企業が比較的景気の影響をうけにくい業種にかたよりがちであったため、結果は楽観的なものになった。

景気後退の就職への影響についてだが、新卒及び中途採用人数とも「減少」という回答は四二％であった。一方「昨年並」が三一％、「増員」という企業も二七％あった。求人広告費は「減額」二三％に対し、「昨年並」が五〇％、「増額」が十七％であった。募集人員を減少と答えた企業が四二％もあったのに対し、広告費を削減した企業は二三％しかなく、新卒採用者一人当りの求人広告費は昨年に比べ増加しているといえる。

また、欲しいと思う人物像については、各社様々であったが、その中でも特に「明るい人」「積極性のある人」「マナーのある人」「基礎学力をそなえた」といった回答が目立った。

ダイレクトメールについては、従来出していた企業ではやや減少傾向であった。しかし、出すところはかなり大規模に出すが、「ダイレクトメールは効果が薄い」として全く出さない企業も約半数を占めていた。



今回の景気後退がふつうのそれと違うのは、バブルの遺産を抱えている点だろう。今回終わりを迎えたのはまれにみる大型景気であり、しかもその後半は、バブルによって随分水ぶくれしていた。したがって、「前年」または「ピーク時」の数字は異常に大きい。異常に大きい数字と比べれば、たしかに減少幅は非常に大きくなる。しかし、それにびっくりする必要は、必ずしもない。

自動車などの耐久消費財の売り上げにしても、何年分かの需要増を、「先喰い」してしまった面があるにちがいない。また、低金利の資金が容易に調達できたために、そうでなければされなかったはずの設備投資がされ、それが当分企業にとって重荷になることもあるだろう。さらに、企業も銀行など金融機関も、程度の差こそあれ、バブルの後遺症を抱えている。それはしばらくの間、彼らの行動を制約せざるを得ないだろう。

この不景気を乗り切れる企業を見切るためのポイントは何だろうか。まず着目すべきはやはり売上の伸びであろう。一般的に企業の業績は売上高の伸びに深く関わっているといえる。一方近年売上高が下がっている企業は深刻だ。次に見るべきは利益の増加率。これは経常損益の変化より読みとることができる。この二つのポイントにより企業がバランスよく発展しているかどうかがわかる。

しかし現時点で多くの評論家は、景気調整は夏場でボトム、そしてゆるやかな回復というシナリオを発表している。実際には人手不足もまだまだ深刻であって、経済水準も依然として高いレベルにある。

TIME INDEX

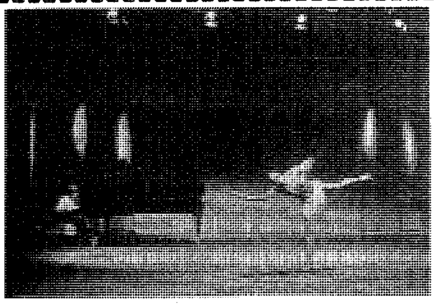
【MUSIC】

6	2(日) PM7:00〜	エマ・ジョンソン&タカーチ管弦四重奏団	S席 3000円 A席 2000円 B席 1000円	ノ
	5(金) PM7:00〜	第8回コンサート コーラスとピアノデュオの夕べ	大人 700円 子供 300円	ノ
	7(日) PM2:00〜	第31回定期演奏会　筑波大学管弦楽団	前売 600円 当日 700円	ノ
	13(土) AM11:00〜	コラール／オルガン研究会	一般 12000円 （昼食代、会費含）	バ
	13(土) PM6:30〜	サタデーナイトコンサート TULIP特集	大人 700円 子供 350円 ペア 1200円	E
	14(日) PM2:30〜	第25回定期演奏会 土浦交響楽団	一般 1000円 高校生以下 700円	ノ
	18(木) PM7:00〜	セゾンカード&セゾンクラブ J-WALKスペシャルライブ	一般 3500円 会員 2500円	ノ
	19(金) PM7:00〜	ピアノとダンスのコラボノーション アポカリプス黙示録	S席 5000円 A席 4000円 B席 3000円	ノ
	20(土) PM6:30〜	第13回楽しいコンチェルトの夕べ ムシカ　カンパーナ	一般 1000円	ノ
	26(金) PM7:00〜	アリランの歌　ーオキナワからの証言ー	一般 1500円 小中高生 1000円	ノ
	27(土) PM6:30〜	サタデーナイトコンサート TULIP特集	大人 700円 子供 350円 ペア 1200円	E
7	3(金) PM7:00〜	つくば古典音楽合唱団 第6回演奏会（ドイツ・バロックの埋葬音楽）	一般 1000円	ノ

【ART】

6	4(木)〜21(日)	日本芸術会員による 茨城近代美術の精華　ー今日の栄光ー	無料	つ
	24(水)〜7/5(日)	中山庄太郎・村上九十九展		

ノ…ノバホール(52-5881)　バ…バッハの森(029747-8696)　E…EXPOセンター(58-1100)
A…AKUAKU(51-4147)　つ…つくば美術館(56-3711)
※編集部では"TIME INDEX"に掲載するイベントを募集しています。映画・演劇・展示会等ございましたらご連絡下さい。52-4460　筑波大学学生新聞会


▲「アポカリプス黙示録」より

映画情報　6/10〜7/10

映画館		10〜19	20〜26	27〜10	TEL & ADD
キネカ筑波	I	愛人ラ・マン	フライド・グリーン・トマト	橋のない川（午前の部） フライド・グリーン・トマト（午後の部）	0298 (52) 2145
	II	ツインピークス	フック　※時間は直接劇場へお問い合わせ下さい。		クレオ西武 6F
セントラル	I	ツインピークス　10:20／2:30／6:40／(10:50) 炎の大捜査線　12:40／4:50／(9:00)			0298 (21) 1554
	II	愛人ラ・マン バック・イン・ザ・USSR	氷の微笑 新・闇の女		
	III	ミンボーの女　11:00／1:30／4:00／6:30 ／(8:55)／(11:10)		紅の豚	土浦市川口一
	IV	橋のない川　10:40／1:15／3:50／6:25／(9:00)		おろしや国酔夢譚	
土浦東映		寒椿　11:00／2:45／6:30 1杯のかけそば　1:05／4:50			0298 (21) 0661 土浦市中央二
テアトル土浦		ゆりかごを揺らす手 羊たちの沈黙		※次回作品未定	問い合せ共通 0298 (22) 2345 土浦市桜町三
土浦プラザ		刑事ジョー　ママにお手あげ　9:50／1:15／4:40／8:05 スーパータッチダウン　11:20／2:45／6:15			
シアター505		ハイランダー2甦る戦士 ボディパーツ	ミュータントタートルズ2 あぶない週末		土浦市川口一 モール505 3F
ピカデリー	I	女殺油地獄　10:40／12:45／2:50／4:55／7:00 ※土曜日のみレイトショー		遠き落日	0298 (22) 6661
	II	12人のやさしい日本人 無能の人	フック　10:45／1:20／3:55／6:30／9:05		土浦市中央二

※かっこ内は土曜日のみの時間。　入場料　一般 1,600円　学生 1,300円
この予定は変更されることもありますので、お出掛けの際には上映時間とともに電話でおたしかめ下さい。

Ticket Present

読者の皆様に抽選で映画館のチケットをプレゼント致します。小紙へのご意見・ご感想を添えてお申し込み下さい。

▶応募方法　官製ハガキか本紙折込みハガキに、住所・氏名・職業・ご希望のチケット番号を明記の上、下記の宛先までお送り下さい。
▶宛先　〒305茨城県つくば市筑波学園郵便局私書箱29号 筑波大学学生新聞会
▶締切6月25日必着
▶チケット番号
①キネカ筑波（10名）
②テアトル土浦・土浦プラザ・シアター505共通券（5名）
③ピカデリー（5名）
④セントラル（5名）
⑤土浦東映（5名）

筑波學生新聞　《自社広告》

縮刷版 Vol.2

近日発売

1982年に創刊された本紙10年間の学内ジャーナリズムのうち、近年5年分をここに凝縮。51号（'86年11月）から昨年堂々発行された100号記念スペシャル特別すごいぞ号までの筑波大学の歴史の全てをA4判にまとめて!!
なお、'86年度に発刊された縮刷版 Vol.1は完売しております。
筑波大學學生新聞会　☎0298-52-4460

時代は、パワフルシステム。

CAC

いま、「情報」は企業のパワーのもと。事業活動で他社に差をつけ、戦略を優位に展開するために、情報システムが不可欠な時代になっています。私たち、CACは情報システムのプロとして、情報の力をフルに活かすシステムを提案、構築いたします。CACは、独立・中立の立場からつねに顧客企業にとって最適なシステムづくりを行ってきました。また、システム化の計画からシステム設計、ハードウェアの選定、ソフトウェアの開発、保守に至るまでトータルにお引受けしています。いま私たちは、戦略的なシステムの構築をめざす企業の力強いパートナーでありたい、と考えています。

CAC 株式会社コンピュータアプリケーションズ
本社 〒101東京都千代田区一ツ橋2-3-1 小学館ビル TEL.(03)3263-7241(代)
関西営業所 〒530大阪市北区曽根崎新地2-6-12 小学館ビル TEL.(06)346-5511(代)